

施工処方

塗装部位	下地	工法
屋根/壁	コンクリート・モルタル	下地調整 + E-COOLシーラーSC + E-COOL ※1 + E-COOLクリアトップR
	合板、防水ゴム、防水塗料等 (コンクリート・モルタル以外)	下地調整 + シーラー/防錆塗料 + E-COOL ※1 + E-COOLクリアトップR
床	コンクリート・モルタル	下地調整 + E-COOLシーラーSC + E-COOL ※2 + E-COOLクリアトップR
	アスファルト、インターロッキング等 (コンクリート・モルタル以外)	下地調整 + シーラー + E-COOL ※2
商品名		仕様・特長
E-COOL・F	※1	屋根壁用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.3~0.4kg/m ² 回塗 約50m ² /15kg缶)遮熱・耐候性に優れる。艶消しマット調。
E-COOL・Fノンスリップ	※1,2	屋上/床用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.5~0.6kg/m ² 回塗 約30m ² /15kg缶)屋上等軽歩行される部位へ推奨。
E-COOL・Fハードフロア	※2	床用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.5~0.6kg/m ² 回塗 約30m ² /15kg缶)強靱塗膜の高耐久性、ノンスリップ型。
E-COOL・SI	※1	屋根壁用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.3kg/m ² 回塗 約50m ² /15kg缶)汎用性高く半光沢な塗面は壁塗装に推奨。
E-COOL・SIノンスリップ	※1,2	屋上/床用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.5~0.6kg/m ² 回塗 約30m ² /15kg缶)プールサイド等の軽歩行部位へ推奨。
E-COOL・SIハードフロア	※2	床用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.5~0.6kg/m ² 回塗 約30m ² /15kg缶)強靱塗膜の高耐久性、ノンスリップ型。
フィーカジE-COOL・F	※1	屋根壁用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.5~0.6kg/m ² 回塗 約30m ² /15kg缶)環境配慮型琉球石灰配合。
フィーカジE-COOL・Fハードフロア	※2	床用遮熱塗料(ローラー・刷毛:約0.6~0.8kg/m ² 回塗 約25m ² /15kg缶)環境配慮型琉球石灰配合。
E-COOLシーラーSC		コンクリート用下塗材(約0.15kg/m ² 1~2回塗 約100m ² /15kg缶)E-COOL各種と最適に密着。塩害にも有用。
E-COOLクリアトップR		鏡面仕上材(約0.15kg/m ² 1~2回塗 約100m ² /15kg缶)防汚性高く屋根・壁塗装の仕上材として推奨。高光沢な仕上。

《塗装に関わる注意》

1. 結露しやすい地域や季節には塗装時間に注意し、十分な乾燥時間を確保して下さい。
2. 天候を確認し、降雨、降雪のおそれがある場合及び強風時には塗装しないで下さい。
3. 本製品は建築用塗料です。本来の用途以外に使用しないで下さい。
4. 飛散防止のため必ず養生して下さい。
5. 塗料は電動ミキサーなどで十分に攪拌し均一にして塗装して下さい。
6. 塗装後約12時間以内の乾燥不十分な状態で降雨、降雪、結露が起こるおそれがある場合や高温・低温になる場合は剥離、ふくれ、割れ、白化が発生するおそれがありますので塗装しないで下さい。
7. 塗装間隔は4時間以上あけ、塗料が十分に乾燥している事を確認して下さい。
8. アスファルトなどの吸い込みの激しい素材は、3回塗りして下さい。
9. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上の環境や著しく高温な素材には塗装しないで下さい。
10. 下塗材は必ず適正を確認して下さい。下塗材の選定により十分に付着しないおそれがあります。
11. 十分な性能を確保するため、標準使用量を守って塗装して下さい。適切な仕様以外では色相が変化して見えたりします。また十分な隠れ性が得られなくなるおそれがあります。
12. 旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響で塗膜が侵され、ふくれや縮みなどの異常が発生する場合があります。必ず旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討して下さい。
13. 他の塗料を使用したローラー・刷毛などの用具は、十分に洗浄したものを使用して下さい。また溶剤・油性塗料で使用した用具は使用しないで下さい。
14. 硬化不良になりますので指定した希釈率以上、希釈しないで下さい。
15. 施工中は塗料が容器からこぼれないよう注意して下さい。万一こぼれた場合は、よく拭きとって下さい。
16. 波形の屋根に塗装する場合は、折れ曲がった形状の部分は塗膜が薄くなる傾向がありますので、事前に拾い塗りを施すことで、塗膜保持が均一化されます。
17. 容器は基本的に吊り上げないで下さい。落下事故に繋がる危険性があります。
18. 汚れや傷などで補修塗装が必要になる場合がありますので、使用塗料と塗装方法の控えを必ずとり、同一塗料、同一方法で補修塗装をして下さい。
19. 塗装後、塗膜の上に登るさいは、十分に乾燥していることを必ず確認して下さい。
20. 塗装後、乾燥塗膜に付着した汚れは洗浄し洗い流して下さい。

《緊急時》

1. 目にいった時は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んださいは、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 容器からこぼれたさいは、砂等を散布した後、ウエス等で拭きとり処理して下さい。

《素地に関わる注意》

1. コンクリート、モルタルの養生は十分に行って下さい。原則として3週間以上が適当です。含水率10%以下で塗装して下さい。また、表面に粉化物が存在する場合は、シーラーSCが必要です。
2. 旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄やワイヤーブラシ、ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。処理が不十分な状態の塗装は、塗膜剥離の原因になります。
3. チョーキングは、高圧洗浄(15MPa150kg/cm²)以上で洗浄し劣化塗膜や粉化物を完全に除去して下さい。
4. 水洗い後は1日以上乾燥させて下さい。また素地表面が雨・霧などで濡れている場合は、十分に乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分な塗装は剥離、ふくれ、割れなどの原因になります。
5. 錆の発生部はワイヤーブラシなどで入念に除去を行い、錆止塗料を下塗材として塗装して下さい。
6. ゴミ、埃、油などが付着している場合は、付着不良の原因となりますので完全に除去して下さい。
7. 旧塗膜に発生したカビ、藻などは必ず除去し、清浄な面として下さい。

《保存、保管に関する注意》

1. 塗料は開封後、一度に使いきるようにして下さい。止むを得ず保存する場合は、厳重に密閉した後、速やかに使いきって下さい。
2. 屋外での塗料の貯蔵はしないで下さい。また、直射日光の当たらない場所で貯蔵して下さい。
3. 適切な貯蔵環境では引火の心配はありませんが、極端な高温環境(50℃以上)での保管は避けて下さい。また、極寒環境(0℃以下)での保管も避けて下さい。

《使用上の注意》

1. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
2. 容器はフタをし、適正な場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

○用途



住宅、学校、店舗、事務所、工場、倉庫などの外装及び塗床

製造元



株式会社 和光

〒640-8125 和歌山市島崎町6丁目39
TEL 073-422-4778 FAX 073-422-9368
E-mail info@wako-janibis.co.jp
H.P www.wako-janibis.co.jp